



# かまいし 市議会だより

12月定例会の概要	2
議決議案	3
一般質問（11名登壇）	4
補正予算等の審議から	15
議員全員協議会	17
常任委員会活動報告	17
復興対策特別委員会	18
議会の動き	19
新しい年に臨んで	20



平成27年

12月定例会

No. 143

# 12月定例会の概要

# 集中復興期間終了目前 多岐にわたり議論展開

12月定例会は、12月7日から18日まで、12日間の会期で開催しました。初日には、3期目となる野田市長から所信表明演説が行われ、最終日には、待機児童解消に向けた取組み状況についての報告がありました。

15日からの一般質問では、11名が登壇し、復興事業、教育行政、地域振興、観光行政などさまざまな行政課題について議論を行い、市当局の考え方をただしました。今定例会に付託された市長提出議案22件は、全て原案のとおり可決、同意しました。また、議員提出議案の意見書1件については否決しました。

市長の新任期、3期目のスタートから初めての定例会開催となつた12月。

冒頭に市長から所信表明演説があり、これからまちづくりの基本政策、基本姿勢が表明されました。復興府が示した集中復興期間が3月までと期限が迫る中、平成23年に市が策定した、復興まちづくり基本計画10年間の中期から後期へと移行する4年間の政策に、各議員が真剣に耳を傾けました。

震災から5度目の年越しを控え、一般質問では、復興関連の質問が多く出ました。復興の遅れと共に市外へ転居された被災者が戻つてこなくなる傾向があること、仮設住宅暮らしが長引いている影響、また、交通や買い物の不便といった現状について、議員からは、被災者への親身になつたまちづくりを、という声が上

## 真の復興

がつたほか、市民の思いをより丁寧に汲み取つてみてはどうか、という問い合わせや、何をもつて復興宣言といえるのかなど、真の復興について問う姿勢が多くみられました。

住宅の再建や、町並みの再生など、まだまだ復興の途上にある当市ですが、今議会では観光、農水産業、港湾の振興策について、教育、福祉、災害対策、公共交通からゴミ問題とさまざま角度から質問がなされ、

復興の加速以外にも多岐にわたる行政課題が山積している現状が表れました。また、仮設の集約や、かさ上げ工事の進捗状況に伴つて、今後、体育館、競技場、文化施設など公共施設の建設も予定されている中、保有資産の現状把握と将来を見据えた維持管理費に意見が出されたほか、震災前にあつた施設の原則復旧についても言及されました。

浸水した地域では、かさ上げが進み、徐々に新たなまちの形が見え始めた釜石市。

当局からは、震災の検証と今後の復興の加速を見つめた将来像について、今後のプラン、ビジョン、施設管理計画を策定し、引き続き情報の収集と発信をしながらしっかりと進めていくとの考えも示されました。

# 議決議案

## 条例関係

### ■個人番号の利用等に関する条例

- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定による個人番号の利用及び特定個人情報の提供等に関し必要な事項を定めるため、制定するもの。

### ■漁業集落排水事業の設置等に関する条例

### ■農業集落排水事業の設置等に関する条例

### ■公共下水道事業の設置等に関する条例

### ■市税条例の一部を改正する条例

- 平成27年度の税制改正において地方税の徴収猶予制度が見直されたことに伴い、所要の改正をするもの。

### ■農業委員会の選挙による委員定数条例の一部を改正する条例

- 農業委員会等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、釜石市農業委員会の選挙による委員定数条例の一部を改正し、農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めようとするもの。

## 予算関係

### ■一般会計補正予算（第8号）

- 52億5100万円増額。総額1090億9300万円。
- ▶東日本大震災において被災者支援の取り組みを行った方々を顕彰するため、被災者支援フォーラムの開催、自宅等提供者、避難所支援者等への感謝状授与、礼状送付、記念品等の贈呈を行う「被災者支援顕彰事業」186万1千円、▶県の助成制度を導入して、市民税が課税されていない高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯及び生活保護世帯に対し、灯油購入費の一部を助成し、冬季の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進を図ろうとする「福祉灯油購入費助成事業」1570万円、▶循環型社会形成推進交付金を活用して行うストックヤード整備工事について、労務単価上昇分を増額するとともに新たに整備するペットボトルの処理・保管施設に、併せて資源物として収集した衣類・小型家電製品も保管することが可能な施設規模に見直し、資源物のリサイクル促進を図る「旧清掃工場解体・跡地整備事業」1780万2千円、▶集団移転の跡地整備について、測量調査設計を行う「集団移転跡地環境整備事業」1887万円、▶買物に不便を来す市民の利便向上と雇用機会創出のため、スーパー等の出店を支援する商業施設出店促進事業補助金を交付する「商業振興事業」200万円、▶教育振興基金に「学校・幼稚園の図書及び視聴覚教材充実」の目的で寄せられた寄付金を活用して学校図書等を購入する「学校図書館図書購入費」50万円など。

### ■国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

- 1940万9千円増額。総額55億5450万5千円。

### ■介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

#### □保険事業勘定

- 5925万9千円増額。総額40億4625万9千円。

#### □介護サービス事業勘定

- 238万5千円減額。総額3620万5千円。

### ■下水道事業特別会計補正予算（第3号）

- 3124万7千円増額。総額43億7869万8千円。

### ■漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

- 2億9163万8千円増額。総額3億2508万円。

### ■魚市場事業特別会計補正予算（第2号）

- 9858万8千円増額。総額38億1380万9千円。

### ■水道事業会計補正予算（第2号）

- 収益的支出を1億3390万円増額。

## 一般議案

### ■土地の処分に關し議決を求める

### ■只越復興住宅4号(仮称)の取得に關し議決を求める

### ■市道路線の認定（21路線）

### ■市道路線の廃止（13路線）

### ■室浜漁港海岸災害復旧（その2）工事の請負契約の締結

### ■北ブロック復興整備事業箱崎半島2号線道路新設工事の変更請負契約の締結

### ■中央ブロック復興整備事業嬉石松原地区造成工事（その3）の変更請負契約の締結

### ■室浜復興住宅（仮称）の取得に關し議決を求める

## 人事案件

### ■人権擁護委員候補者の推薦

任期満了により、佐々木八重子さん及び川原清文さんを引き続き委員として推薦することに同意。

## 議員提出議案

### ■戦争法といわれる安全保障関連法の廃止を求める意見書の提出について

- 坂本良子議員から提案理由の説明が行われ、その後、細田孝子議員、木村琳藏議員からの反対討論、海老原正人議員からの賛成討論があり、採決の結果、賛成少数により否決。

※金額については、一部千円以下切り捨てで掲載



千葉 荣

(21世紀の会)

## 甲子地区の振興策は

### 資源を活かし潤いのあるまちづくり

**議員 河川の氾濫、防災拠点、甲子地区振興策は。**

**市長** 甲子地区は、甲子川沿いに、住宅、商業施設が集中していることから、地域の皆さんの意向を踏まえて、良好な居住環境の充実や未利用地の有効活用を進めるとともに、鉄づくりの歴史を物語や登録文化財である旧釜石鉱山事務所の活用はじめ、観光客でにぎわう道の駅「釜石仙人峠」や、釜石市球技場の集客施設の利用促進を図り、甲子地区の振興、活性化を図っています。

### 災害対応

**議員** 今後、氾濫箇所、氾濫想定基準を分かりやすく作成する必要があると思うが。

**危機管理監** 洪水等について、出来るだけ分かりやすく伝える方法等について、河川管理者の岩手県と相談しながら研究していく。

**議員** 災害が発生した場合、緊急車両、各支援車両を入れる集結場所が必要だと思うが。

**危機管理監** 当市で災害時の救援隊の拠点場所候補として、本市で災害時

を考えている旧大松小学校、甲子中学校、仮設釜石東中学校の学校施設用地、釜石市球技場、平田公園野球場のほか、大橋地区の民間用地などの現地確認を行っている。

### スポーツ施設の有効活用

**議員** 西部地区のスポーツ施設として旧大松小学校の



運動場として利用の多い旧大松小学校

とともに、緊急場外離着陸場などの活用により災害、事故、救急などに消防署等関係機関と連携して対応し、市民の安全安心の確保に努めていく。

体育館とグラウンドを有効活用できないのか。

**教育長** 平成25年途中から市民の方々へ供用開始し、本年4月には仮設トイレの増設、11月には照明機器の取り替えを行い、引き続き地域の皆様と協議しながら取り組んでいく。

体育馆とグラウンドを有効活用できないのか。

### 質問項目

- 台風等による集中豪雨の際の釜石市内の河川氾濫等について
- 防災拠点について
- ヘリポートの設置について
- 甲子地区の振興策について



佐々木 聰  
(清流会)

## 質問項目

- ・釜石市の復興宣言について
- ・国体の準備について
- ・ゴミの減量について

# 何をもつて復興宣言といえるか

## 被災者の住まいの再生が必須である

**議員** 神戸港の復興宣言は、震災から2年後、北海道奥尻島の復興宣言は、震災から5年後に発表されている。

一方、東日本大震災から4年9ヶ月が経過した釜石市においては、復興道半ばであり、復興の遅れと共に被災者が帰郷しなくなる傾向がアンケート結果として出ている。この現実を重く受け止める必要がある。復興宣言を発表できる状況とは具体的に何か。

**市長** 全ての被災者が深い悲しみを乗り越え、新しい生活へと自ら一步を踏み出すことができたときに初めて

て、真の復興がなされたと言えるのではないかと考えるが、その大前提として被災者の住まいの再生が必須である。

**議員** 国体の準備はどこまで進んでいるか。気運の醸成手段、ボランティアの申し込み状況、競技審判員とスタッフの育成状況は。

**教育長** 鵜住居恋の峰付近の掲示塔の化粧直しと横断幕を鈴子町の民間商業施設と松倉の球技場へ設置した。

ボランティアは100人募集して37人の申し込みがあつた。他に企業や個人から問い合わせがきている。

競技審判員とスタッフ育成については、各競技団体で養成・確保に努力しているところである。概ね審判員、スタッフの確保はできている。

来年の希望郷いわて国体の開催意義は「広げよう感動。伝えよう感謝。」をテーマに実施される。そこで当国体において、全国からの支援に対しての「感謝」の気持ちを伝えることが、開催地としての大きな使命

になると捉え、釜石市民や全学校の児童生徒が自ら創意工夫をした取り組みを大切にしながら成功に向け被災地の会場として取り組む。ボランティアは100人が県内でワースト2位だが、市としての、ゴミ減量の意識づけはどのように行っているのか。

**議員** 釜石市のゴミ排出量が県内でワースト2位だが、市としての、ゴミ減量の意識づけはどのように行っているのか。

市生活部長 平成21年度には、町内会から推薦をいただいたゴミ減量推進委員を配置して、ゴミの減量や分別指導、ゴミ集積所の環境整備等の活動を行っている。



トライアスロン競技の様子（根浜）



遠藤幸徳  
(民政クラブ)

## 保有資産の現状把握と資産の維持管理は

### 固定資産台帳を整備し、管理計画を策定

**議員** 震災復興の道半ばで

あるが、市の保有資産の現状把握に取り組み、今後の公共施設のファシリティマネジメントを推進していくべきと思うが。

**市長** 少子高齢化や人口減少が進むことが見込まれ、将来的な財政規模の縮小が避けられない中、ハコモノの維持管理費や道路などのインフラの更新費用が、財政運営に大きな影響を与えないよう、将来の人口規模等を見据えながら、保有する公共施設の管理が重要課題と認識している。その方策として、市が保有する公

共施設を含む固定資産の価値を評価し、固定資産台帳の策定を行う。来年度には、

これを基に、公共施設等総合管理計画を策定し、すべての公共施設等を対象に利

協議・検討しながら、公共施設等総合管理計画を推進したい。

**議員** ウニ殻をはじめとする漁業系残渣の適正な処理

方策はいかにあるべきか。

**産業振興部長** 当市のウニ殻の廃棄や処理状況は、産業廃棄物処理の資格を有する業者に処理業務を委託す

る。また、漁業者個人に処理を任せる地区、漁協が一旦、仮置き場を設置し、最終処理に回す等、統一した取り組みではない。ウニ殻の再資源化による有効活用、

産地としての処理方法の統一化に向けた対応手段が確

#### 質問項目

- ・保有資産の管理について
- ・水産行政について
- ・復興公営住宅の今後の課題について

※ファシリティマネジメント…企業や団体などが活動するための施設や環境（ファシリティ）を管理し活用する経営手法。



市役所庁舎

定していないが、市内の生産現場の実状を踏まえ、関係機関と連携しながら処理対策に取り組む。

**議員** 阪神・淡路の経験から何を学び、何を復興住宅にいかしていくのか。

**市民生活部長** 阪神・淡路大震災の教訓から、復興住宅建設では、できるだけ高層の住宅は建設しない。入

居者間の交流やコミュニティに配慮し、高齢者、障がいのある人に気配りしている。入居後は、生活応援センターの保健師や生活支援相談員が世帯を訪問し、支援の必要な世帯には見守り頻度を決め、生活支援相談員が訪問活動を行っている。支援相談員が世帯を訪問し、

居者間の交流やコミュニティに配慮し、高齢者、障がいのある人に気配りしている。入居後は、生活応援センターの保健師や生活支援相談員が世帯を訪問し、

# 肺炎球菌ワクチン未接種者に再通知をしては

## 今後検討していきたい



細田孝子  
(公明党)

### 質問項目

- ・健康福祉について
- ・子育て支援について
- ・公共交通の在り方について
- ・障害者差別解消法について

**議員** 肺炎で亡くなる割合は、全死亡原因の約10%にあたり、特に免疫力の弱い高齢者にとって怖い病気である。国は、死亡者の95%が65歳以上との事から昨年10月より肺炎球菌ワクチンを定期接種化しているが、26年度及び現時点までの接種状況はどうか伺う。

**保健福祉部長** 26年度の接種率は37・49%、今年度は23・62%である。

**議員** ワクチン接種することで肺炎球菌性肺炎の約80%に有効との事である。一生に一回の接種助成の機会を逃さず受け忘れの無い

**議員** 肺炎で亡くなる割合は、全死亡原因の約10%にあたり、特に免疫力の弱い高齢者にとって怖い病気である。国は、死亡者の95%

**議員** 様に再通知をしてはどうかと思うが。

**健康推進課長** 再通知の予定はなかつたが、助成は一生に一度という事なので今後検討していきたい。

加えて28年度から「にこにこバス」の割引制度の導入を目指している。又、路線バス事業者に対しても協力を求めていきたい。

**議員** 噫緊の課題は、バス

路線を外れた地域に住む住民の足の確保ではないか。全国には同じ課題をもち、先進的な対策を行っている自治体がある。是非、その事例を学び当市の政策作りに繋げてはどうか。

今後は、わかりやすい表示方法や新たな設置場所について検討し、外出できる環境整備に取り組みたい。

支援等がないか研究しながら検討していきたい。

**保健福祉部長** 現在、保健福祉センターや青葉ビル、全ての子育て支援センターに於いて、オムツ交換や授乳が出来る様にしている。

**議員** 子育て世帯の6割以上が、外出する際の不安事項に、オムツ交換や授乳の場が無い事を挙げている。

そこで「赤ちゃんの駅」の設置事業を導入し、気兼ねなくオムツ交換や授乳が出来る環境整備を行っては如何か。

**議員** 運転に不安をもちながらも免許証を返納しない理由として、買い物や通院等の足の確保が出来ない事が挙げられている。改めて返納した方への優遇措置と足の確保について、どのように検討をしたのか。

**市民生活部長** 現在、自主返納者に対しては、三鉄運賃の半額とタクシーの1割引きをしているが、これに

い公共交通を進めて行かなればならないし、足の確保は重要な問題である。先進地の事例やNPOによる



おうしゅう赤ちゃんの駅（奥州市提供）

※赤ちゃんの駅：乳幼児を抱える保護者が、外出中に気軽に立ち寄り、授乳やおむつ交換ができる施設や場所。



坂本良子  
(日本共産党)

## 介護報酬引き下げで事業所への影響は

### 減少傾向だが、データ蓄積の分析必要

**議員** 4月の介護報酬の改定は過去最大規模の引き下げとなつた。引き下げにより経営が成り立たなくなれば、利用者がサービスを受けられない事態が起きてくる。介護報酬引き下げによる当市の介護事業所・施設への影響は。

**保健福祉部長** 4カ月間の介護給付の前年比較では、サービス全体で概ね減少傾向にあり、特に介護報酬の改定による減少が大きい分野で比較的減少が目立つている。今回の引き下げが各種サービスへどのように影響しているかを判断するた

めには、今後さらに多様なデータを蓄積した上で分析する必要がある。

**議員** 介護労働者は全産業平均より約9万円も賃金が低く、働きに見合った賃金になつていないことで人材確保が困難となつている。

**介護報酬がマイナス改定では職員の処遇改善が難しい。**

問題になつていて、3年後の介護報酬改定を待たずして報酬引き下げ撤回と介護労働者の賃金改善を国に求めるについての考え方。

**保健福祉部長** 介護人材確保の観点から、賃金改善は重要な項目だが、市単独で

### 質問項目

- ・介護保険制度について
- ・学校給食について
- ・東日本大震災後の生活再建について



学校給食の様子

護者から徴収していただきている。昨年度の収納率は99・95%、今年度現在では99・71%となつていて。

**議員** 全国では、学校給食費を無償化にする自治体が増えている状況にあるが、無償化することについて考えを聞きたい。

**教育長** 学校給食の経費は、学校給食法第11条により、

施設や設備に要する経費や運営に要する経費は、学校設置者である市が、その他

の学校給食費は、保護者負担がうたわれていることや、無償化を実現するには年額1億3千万円ほどの財政負担が見込まれることから、学校給食費は保護者に引き続きご負担をお願いしたいと考えている。

**議員** 4月の介護報酬の改定は過去最大規模の引き下げとなつた。引き下げにより経営が成り立たなくなれば、利用者がサービスを受けられない事態が起きてくる。介護報酬引き下げによる当市の介護事業所・施設への影響は。

**保健福祉部長** 4カ月間の介護給付の前年比較では、サービス全体で概ね減少傾向にあり、特に介護報酬の改定による減少が大きい分野で比較的減少が目立つていて。今回の引き下げが各種サービスへどのように影響しているかを判断するた

**議員** 介護労働者は全産業平均より約9万円も賃金が低く、働きに見合った賃金になつていことで人材確保が困難となつている。

**議員** 子どもの貧困が社会問題になつていて、おいても、家庭経済が厳しい状況の中での心の負担になつていないかと

いう思いから、学校給食費の納入状況について聞いた

**教育長** 当市では、各学校の協力を得て、それぞれ保

合田 良雄  
(海盛会)

## 質問項目

- ・新しい農業について
- ・教育振興について
- ・観光行政について

# 「かまいしの第九」からのメッセージは

## 自信と地域への誇りを持つこと

**議員** 新しい農業として、高床式砂栽培農法というものがある。これは、フレームハウスを建て、ハウス内にパイプで栽培用ベットを作り、その上で砂と少量の液体肥料を使って、いろいろな野菜、果物、薬草など多様な栽培を行うものである。「食」と「農」を基盤とした健康長寿社会の実現にもつながるこの植物工場の可能性について所見を。

が可能となり、栽培管理が比較的軽減されるものである。しかし、設備コストが大きく、販売面での工夫が必要となってくる。

この農法は、ある程度の資金力のある企業等が、事業規模拡大のためや、新分野への取り組みとして、販売面まで含めた展開を組織的に取り組むことが現実的な展開と考える。

**議員** 今年も「かまいしの第九」が38年、続けて開催された。この「第九」に私は、励まされ、子ども達は、ともに、魂の教育の手本とも言える。「かまいし

の第九」からのメッセージは、どう考えるか。

**教育長** さまざまな困難を乗り越え、38年という長い期間、休むことなく感動ある演奏会を続けてこられた

のは、「かまいしの第九」実行委員会の皆様の開催にかける並々ならぬ熱意と努力、そして、それを支える釜石市民の音楽芸術に対する秘めたる感性の深さにあったからと捉えている。

平成15年からは、市内の将来を担う中学生が大人と一緒にになり、力を合わせてひとつ的作品を作り上げ



「かまいしの第九」演奏会

ることは、子ども達にとつて、自信と地域への誇りを持つことにつながっていくものと信じている。

### 議員 市立図書館を市民にもつと利用してもらうため

に、「ブックシャワー」という設備の導入を考えられなかいか。

**教育次長** 「ブックシャワー」とは、紫外線を使つて図書を殺菌消毒し、本に風をあてて、はさまったゴミやにおいをとる機械であり、この紫外線の殺菌効果により、インフルエンザ等の感染症対策にも有効とされ、病院や食品加工場でも使用されている。

今後、老朽化している建物の修繕も計画的に取り組まなければならないが、この件も、図書館の環境整備の一環として検討していく。



平野 弘之  
(清流会)

## ガントリーエクレーン早期整備の実現を

### 岩手県に対し整備を強く要望していく

**議員** 釜石港コンテナ取扱

量の岩手県記録更新は、岩手県が釜石市に課したガントリーエクレーン整備の条件をクリアしたものと捉えることができる。また、コンテナ取扱量の飛躍的な増加は、釜石の復興が着実に進行している証拠と捉えている。これらの点に関し、その後の動静と今後の見込みについて伺う。

**市長** 平成27年度の岩手県内陸部周辺の国際貨物は、昨年を上回る規模の水産貨物、建設発生土の輸送で、岩手県の過去最高記録を更新したものの、目標として

いた50000TEUには届かず45000TEU程度に留まる見通し。ただし、上昇基調にあるコンテナ物流情勢を踏まえ、ガントリーエクレーン整備の必要性が高まっていることから、岩手県に対し、整備を強く要望していく。一方、コンテナ取扱量の増加が、釜石の復興が着実に進行している証拠については、震災前と比較して、現在の釜石港のコンテナ物流情勢は、名実ともに岩手県では最大規模になりつつあると認識している。魅力あふれる雇用の場や、産業経済活動を支える

観点からも、コンテナ物流拠点が復興に果たす役割は非常に大きいと捉えている。

**議員** 一連のインフラが途切れないように、横断的な働きかけを継続していくことが肝要と考えるが、市の見解を伺う。

**産業振興部長** 隣県他港を追隨しながらポートセールスに奮闘している。一方、リーファーコンセントの取扱量は上昇基調にあり、水揚げから輸出まで支える一連のインフラが途切れないよう、水産施設の充実に取り組むとともに、不足するリーファーコンセント口数



リーファーコンセント

### 質問項目

- ・国際コンテナを活用した地域振興について
- ・観光行政について

の増口に向けて、岩手県に強く要望していく。また、コンサルタント企業から支援と協力をいただく体制を構築し、実現可能性の検討を進めるとともに現在、有

識者、学識経験者を交えて水産業の6次産業化に向けた検討を進めていく。

**議員** 定住人口が減少していくと予想される中、交流人口拡大のため、多岐にわ

たる観光資源を活用した観光産業の創出が急務となりつつある。釜石市においても観光船配備を中心に総合的な観光発展計画を策定すべきではないか。

**産業振興部長** ビジョン策定に際しては、策定委員会を組織するとともに、市长の諮問機関である「釜石觀光振興審議会」でも検討していただく。

たる観光資源を活用した観光産業の創出が急務となりつつある。釜石市においても観光船配備を中心総合的な観光発展計画を策定すべきではないか。



山崎 長栄  
(公明党)

## 質問項目

- ・所信表明演述について
- ・復興事業について
- ・「災害廃棄物処理計画」について
- ・総合戦略について

# 被災者の思いを丁寧に汲み取っては

## 丁寧に聴き、取り組んでいきたい

**議員**

演述では、被災者一人ひとりに心を寄せながら、いきいきとこの地で暮らし続けられるよう、様々な復興事業に取り組んできた。これからも、被災者の置かれている状況を丁寧に汲み取りながら安全安心で市民誰もが希望をもって暮らし行ける環境づくりを進めると述べられた。果たして被災者の置かれている状況が丁寧に汲み取られ対処されてきているのでしょうか。

地域会議や地権者会では何うことが出来ない被災者の課題や悩みは、小さな単位での集会を開催し、ツー

ウェイ・コミュニケーションを取る事こそ極めて大事ではないのか。

**市長**

復興のまちづくり協議会・地権者連絡会では、事後に送付していた会議資料を事前に送付し、あらかじめ内容について了知していただき様々な意見を伺つた他、東部地区では一定の区域に分けて協議会を開催するなど、会議の場で双方向のコミュニケーションが取れるよう改善に努めている。また、工事説明会や地区懇談会、仮設の自治会長との意見交換も行い、被災者の方々の考え方や思いも

汲み取つてきている。住宅再建が本格化する中につれて、不安を抱えている被災者の思いを伺わせていただけためしつかり向き合つて話し合うことが出来る場を設け、思いや気持ちを丁寧に聴きながら取り組んで行く。

**議員**

大震災から5度目の正月も仮設住宅で迎えようとしている。当局は長期にわたり不自由な生活を余儀なくされる事を想定されていたら、居住スペースなど再整備が出来る法律の整備や政策を執るべきではなかったのでは。狭い居住空

間はどんなに工夫しても限界がある。集約される住宅をせめて使用できるよう配慮すべきだ。

**田中副市長**

復興事業長期化に伴い、現状では5年を超え、更に長期にわたる仮設での生活をお願いせざるを得ない状況に至っている。居住スペースが十分とは考えていないが、スペース、

整備に不満を感じつつも、住まいの再建がされる日まで粘り強く我慢していくだけでいるものと認識し、事業スケジュールを着実・迅速に実施し応えて行きたい。

将来的に拠点集約地にも空室が予想されることから、より緩やかな空室の有効活用を検討したい。



天神町仮設団地



菊池 孝  
(日本共産党)

## 市外へ避難した被災者の現状は

### 634世帯のうち住宅再建は373世帯

**議員** 大震災後、当市から内陸や県外へ避難している被災者の方々の現状はどのようにになっているのか。

**市長** 4011世帯の方々が被災しているが、本年11月末現在、市外に転出された方は634世帯で、そのうち373世帯の方々が既に市外での住宅再建を終えている。

**議員** 全国的に、運動会における組体操の事故が問題になっているが、当市の組み体操の現状は。

**教育長** 運動会で組体操を取り入れている学校は、小学校9校中8校だけで、中

学校では行っていない。組体操を安全に実施するため、児童生徒の体力や運動能力等に応じた適切な内容を設定している。

**議員** 生活保護費の引き下げは、過去最大規模となっているが、就学援助への影響はどのようにになっているのか。

**教育長** 当教育委員会では、児童生徒の教育の受ける機会が妨げられないようになり、今回の生活扶助基準の改定前の基準を引き続き用いており、影響はないものと思っている。

**市民生活部長** 11月8日から市内の配達を始めているが、12月7日時点で釜石郵便局より1715通の約10%の返戻があった。

**議員** より多くの方々に通知カードを受け取って頂くため、来年3月31日の保管期限までに通知カードが届く

### 質問項目

- ・大震災後の対応とまちづくりについて
- ・教育行政について
- ・マイナンバー制度について

よう取り組みたい。

**議員** 介護保険のあらゆる申請書に、個人番号を記載するよう厚生労働省は介護事業者に通知を出したとき

されているが、介護事業所への影響をどのように受けとめているか。

**保健福祉部長** 介護事業所の職員やケアマネージャーは、介護サービスを利用す

る方に自分のマイナンバーを記入していただくが、認知症や要介護状態のために自分で記入ができない場合、家族の方にマイナンバーの記入を求めたり、後見人への手続きの依頼が必要となるため、申請書類の作成時に介護事業所職員の事務の負担が増大する。



小学校運動会の様子



赤崎光男  
(海盛会)

# 当市の発信力についてどう考えるのか

## 創造性と表現力が重要

**議員** ラグビーワールドカップや世界遺産等、当市が全国、世界に発信できる話題について、どのようにアピールしていくのか。また、どのようにまちづくりにつなげていくのか。

**産業振興部長** 産業の振興に当たっては、企業間連携によりお互いの知識や資源を活用して商品を開発するといった「共創」による取り組みを促進する必要があることから、産業育成センターと同調しながら地域企業の新たな取り組みを支援していく。

**復興建設技監** 情報交流センター及び市民ホールにおける様々な文化活動の集客効果により、近隣からの交流人口の一層の拡大を見込んでいる。これにより東部地区の拠点性が高まり、エリアの価値が向上することによって民間投資が活性化することを期待しているもので、フロンティアプロジェクトの推進による環境の変化を被災商業者等の再建と市街地の復活に生かせるよう、

**議員** 釜石を訪れる人が健康になるというコンセプトによる交流や、活動人口を拡大する施策についての考えは。

**保健福祉部長** 釜石の魅力には、海や山の自然の豊かさ、橋野鉄鉱山などの鉄の魅力を関係課と連携を図りながら推進していく。

さらに取り組みを進めていきたい。

**議員** ラグビーワールドカップや世界遺産等、当市が全国、世界に発信できる話題について、どのようにアピールしていくのか。また、どのようにまちづくりにつなげていくのか。

**総務企画部長** インターネットのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）などを利用した広報活動も、効率的かつ効果的と考える若い市民を中心には、自由な発信をしながら創造性と表現力を逞しくしていくことも地域づくり、ひとづくりの一環である。

**議員** フロンティアプロジェクトの整備が進んでいるが、にぎわいの創出に加え、市

**フロンティアプロジェクト** 釜石情報を交流センター（大町）

**議員** フロンティアプロジェクトの整備が進んでいるが、にぎわいの創出に加え、市

まちとしての歴史、ラグビーのまち、豊富な食材などが挙げられるが、こうした釜石の魅力を活用して健康づくりに取り組み、その情報を発信して釜石を訪れる人に健康づくりを体感してもらうことが必要である。今後、釜石の魅力と健康づくりを調和させた地域づくりを関係課と連携を図りながら推進していく。



釜石情報交流センター（大町）

# 鶴住居で失われた機能をいかに復旧か



# 古川愛明 (海盛會)

質問項目

- ・復旧・復興まちづくりについて
  - ・高濃度PCBについて

の生活基盤となる拠点の再生、そして三つ目は、整備される公共施設の持続可能

自立再建、県交通バス乗り入れ等により過密で交通混雑な情景にあるが、対応はどうのようこ考えるか司う。

**議員** 鵜住居のまちづくりについて、震災前にあつた物は、原則復旧するという市の方針のもと、地域として安心・安全なまちづくりを目指し、様々な取り組み

ている。以上のような経過を辿りながら、平成22年2月1日、救急車を配備した釜石消防署鵜住居出張所を含めた釜石市鵜住居地区防災センターが開設された。

は、他の施設との役割分担の可能性や効率性、機能の重複の回避や維持管理費の縮減等の観点から慎重な検討が求められる。鵜住居地区のまちの再生を進める上では、次の3つの視点を考慮する必要があるものと考

**議員** 大津波を受け被災しながら何の事業計画も入らなかつた日向地区は、現在

ているが、市内には拡幅改良等を要する路線が数多くある。市内全域での道路改良に係る優先順位を勘案しながら、市道の管理に努めていく。

消防・救急体制の充実を望んでいた鵜住居地区、栗橋地区の住民として、平成17年9月に鵜住居、栗橋議員連盟から、翌10月に鵜住居地区住民連絡協議会から地域住民の安心・安全を確保するため、救急車を配備した鵜住居消防分署の設置に関する切実な要望が出され

日本大震災が発生し、防災センターは水没し全壊した。釜石市では、この失った機能をどのように捉え、どのように解決しようと考えるのか、また、どのような方針を持つて各種施設整備に臨むのか伺う。

えている。一つには、震災前において市内で最も被害が大きかつたことを踏まえ、震災を後世に伝え、悲劇が繰り返されないためのまちづくりとその発信、二つ目としては、鶴住居地区の地理的な条件を踏まえた半島部と栗橋地区をつなぐ、みやま連携の推進と、地域

のか、また、どのような方針を持つて各種施設整備に臨むのか伺う。

理的な条件を踏まえた半島



## 建設中の鶴住居地区学校等施設

## 補正予算等の審議から

**農業集落排水事業**

現在使用している地域での説明会では、どのような要望・意見が出たのか。

答 現在使用している地域での説明会では、どのような要望・意見が出たのか。

**農業委員及び農地法改正**

当市では選挙による農業委員等定数を12人から10人に改正し、新たに農地利用最適化推進委員5人を設置した根拠は。

答 上げにならないよう慎重に対応をお願いしたいとの要望が出された。

答 上げにならないよう慎重に対応をお願いしたいとの要望が出された。

答 農業地域を5つに分け、その地域から1名を、その他に青年や女性等で5名の10名を任命。また、農地利用最適化推進委員は、農地の規模拡大や集積等を行い、各地域に1名を任命し、5名を設置する。

答 農業地域を5つに分け、その地域から1名を、その他に青年や女性等で5名の10名を任命。また、農地利用最適化推進委員は、農地の規模拡大や集積等を行って車が破損した件が最近

27年度で新たな住宅への接続は行わないとのことだが、その話を説明会ではしたのか。

答 「企業版ふるさと納税」が導入された場合、企業へのメリットは。

答 「企業版ふるさと納税」が導入された場合、企業へのメリットは。

**橋野鉄鉱山道路案内看板**

車での観光客が鵜住居・寺前の入口がわかれずらくて苦労した件と、橋野付近でシカと車が激しくして車が破損した件が最近

り、現行の寄附金額の約3割の税軽減に合わせることにより、6割程度の税額が軽減されることになるのではないか。

答 「企業版ふるさと納税」が導入された場合、企業へのメリットは。

**上中島町災害復興公営住宅建設事業**

上中島町災害復興公営住宅Ⅱ期分の建設事業として、1億8000万円ほど計上されているが、事業費の内訳は。

答 用地の取得代が1億700万円、建物の解体費として4700万円、調整費として2700万円

答 農地利用最適化推進委員の新体制が発足し、農地等の利用最適化指針を各委員の意見により定め、取り組みを明確化していく。

## 商業施設出店促進事業補助金

一企業に対して補助を出して出店を促進するということに違和感を覚えるが、どういう経緯か、また、目的と趣旨は。

答 平成22年度から始まっている制度。買物不便の解消や雇用を守るために、閉店したスーパーに出店を要請したもの。さまざまなお手数を加えており、根拠のない支出ではなく、これまでこの制度で3社出店している。



かまいし冬の味覚まつり（昨年度）

収集している。

## 冬の観光

問 冬場の観光は当市の世界遺産等で冬の期間も対応するべきではないか。

答 冬場は雪の問題により、橋野鉄鉱山インフォメーションセンターは閉鎖され、道路などの安全対策の面から難しい点もあるが、史跡は閉鎖されていないので、団体等で事前に連絡があつた観光客の方々へは、現地ガイドを派遣するなどの対応は行いたい。

## 女性の釣り客

問 内陸から女性の釣り客が釜石へ訪れてくれている。漁港のトイレを使わせていただけないものか。

答 漁協に対し、当市としても釣り客のトイレ利用についてお願いをしているが、一部の漁業関係施設に付帯するトイレを釣り客に開放している漁港もある。いずれ、維持管理は地元漁協が行つており、管理費も相当額と伺つていい。

資源物の保管施設は、最終的にごみ減量につながり、一人当たりのごみ量が減るのではないか。

答 釜石の現在における量は1180グラムとなつていて。今回、ストップペットボトルや古着を回収すると約145グラムになるが、沿岸南部環境組合に入ることには、さらに13グラムほど減少すると考えている。

石町や松原町の污水管路布設工事の進捗状況は。

答 市内で最大径の管渠であることから重要なと認識している。工事の発注は、100%で進捗率は50%である。

## 旧清掃工場解体跡地整備事業

問 この事業に1780万円ほど計上されている。今回溶融炉施設を解体するなかで、跡地整備はどういう形になるのか。

答 引き続き情報提供を行つてある。今回の制度などを活用しながら鵜住居地域に新たに出店して頂けそうなスーパーの情報を

## 汚水管路整備事業

問 汚水管路整備事業（東部地区）の変更の内容は。

答 据削工事現場において、据削土の流出防止の補助工法として沈埋工法が必要となつたためである。大平下水処理場には、下水が流入し、処理されて

## 住宅建設の坪単価の格差

問 民間住宅の場合、加算支援金の支給実績から見て、50万円後半から60万円前半で建てられていると認識している。公営との差額は、20万から30万くらいとされているが、建物は規模が小さくなると割高になると言われている。設備については、入居する方がガス・電気のどちらでも選択できるよう二重に投資しております、一番影響がある。

答 市内多くの世帯から、大平地区に近い嬉

# 議員全員協議会

【10月27日】

①釜石市人口ビジョン・総合戦略②ラグビーワールドカップの取り組み状況③マイナンバーについて、当局から説明を受けました。

釜石市人口ビジョン・総合戦略については、2

040年の当市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2万1千人という予

題研究

想も出ている中、さまざまな課題に適切な施策を打つことで2万7千人を展望するといった説明がありました。

これに対して、目標が低いのではないか、3万人を切らないよう戦略を立てることはできなかつたのか、1次産業の推移が全く見えてこない計画ではないのかとの意見が出ました。

ラグビーワールドカップの取り組み状況につ

いては、常設席を当初の1千席から6千席とする方向で検討し、開催後のイベント開催の使用頻度や維持管理費用のバランス等も考えて最終決定したいと考えているといった説明がありました。

これに対しても、年間の維持費の増加が懸念されるとの指摘がありました。

マイナンバーについては、制度の概略と今後のスケジュールについて説明がありました。これに対して、写真つきカードを勧めてはどうか、情報管理の徹底をしてほしいとの意見が出ました。

# 経済常任委員会活動報告

【11月30日】

①釜石市漁業集落排水事業（唐丹地区漁業集落排水処理施設）②釜石市公共下水道事業③釜

石市農業集落排水事業（栗林地区農業集落排水処理施設）について、当局から説明を受けまし

た。

漁業集落排水事業については、施設を整備している唐丹地区において、各町内会等に対する説明会を開催する予定で、分担金と使用料の考え方を説明し、多くの接続加入者を募っていくたいと考えていることが示されました。

公共下水道事業については、使用料と受益者負担の改定が示され、使用料は7・17円引き上げ171・53円とすること、受益者負担については、処理開始当時と比べて、建設費が高くなっていることから、現在の事業費の5%相当額である1平方メートル当たり350円にしたいとの案が示されました。

農業集落排水事業については、鵜住居地域における公共下水道の今後の進展状況や、財源の確保等に課題があり、府内で具体的な検討を進めていきたいとの説明がありました。

今回の議員全員協議会に示された提案については、今後の議会で審議されることになります。



上段：セミナーホール（北上市）

下段：東北横断自動車道釜石秋田線

（遠野 IC～宮守 IC間）

平成27年11月26日、北上市内のホテルを会場に「釜石港コンテナ航路セミナー2015 in きたかみ」が開催されました。

このセミナーには、民間企業をはじめ国・県の関係者もあわせて約200人が参加し、来る

東北横断自動車道釜石秋田線、三陸沿岸道路開通に向けた釜石港の物流拠点化を目的として、開催されたものです。

同日には、セミナーのほか、平成27年12月5日に開通した「東北横断自動車道釜石秋田線」の遠野インター～エンジから宮守インター～エンジ間の開通直前体験試走会も行われ、着実な復興の進捗を確認しました。

将来の地域振興を強く支えるものとして、大きく期待されるところです。

# 東日本大震災復興対策特別委員会

改選後、初めてとなる復興状況の現地調査が11月24日、市道箱崎半島線の根浜側、鵜住居学校建設現場において行われ、箱崎半島線の進捗状況、鵜住居・片岸地区における区画整理事業や山田線の復旧状況、ラグビースタジアム整備事業などについて、担当職員から説明を受けました。

また、11月30日には特別委員会が開催され、当局から東日本大震災検証報告書の概要版が説明をされ質疑が交わされました。

## 【現地調査】

### 市道箱崎半島線の進捗状況

6月末時点での工事の進捗率は65.4%で、平成29年中に完成する予定。

### 鵜住居・片岸地区の進捗状況

片岸地区・鵜住居地区とも、かさ上げを行った後、片岸地区は34戸の復興公営住宅が、鵜住居地区は日向を除く鵜住居全体で125戸の復興住宅が建設される。駅前には体育館、追悼の場、交流拠点を整備、駅裏には下水道処理場が平成28年度から供用開始の予定。

### 釜石鵜住居復興スタジアム(仮称)整備事業の進捗状況

防潮堤の高さに合わせて4.7mの盛土を行い、施設は6千席の固定席を検討し、財源については33億円を見込んでいる。現在は盛土を行っており来年中期から公園整備を行い、平成31年度前半に完成予定。ラグビースタジアムの両サイドは見えにくいとの質問に対して、高さ制限もあり既定の座席数を確保するため四方に設ける必要があるとの回答がありました。

### 山田線の復旧の進捗状況

震災前と同じ高さでの現状復旧で12月に水海から本格着工に入り、平成30年度の半ばまでに全線開通の見込み。山田線の開通は、ラグビーワールドカップに間に合うのかとの質



・鵜住居・片岸地区の復興状況の説明を受ける

間に対して、間に合うように県と沿線の市町村で話し合っているとの回答がありました。

## 【大震災検証報告書の協議】

検証報告書（平成26年度版）「災害対策本部編」、「学校・子ども関連施設編」、「避難所運営編」の資料で分量が多いことから、概要版で説明がされました。

質疑では、基本的な考え方や避難行動の教訓に違和感があり、表現を変えるべきではとの問い合わせに、1千名余りの方が亡くなったという事実を出発点にしているので理解を。

避難行動の教訓については、年度内に市民向けのまとめが行われるので、その中で検討を行うとの答弁がありました。

鵜住居防災センターに関する記述が乏しいのではとの問い合わせには、別途、調査報告書がまとまっているので、入れていない旨の答弁。

避難所の職員の配置、支援物資の配布に課題があったのではとの指摘には、把握がまだ十分ではなく、今後、調査していきたいと答弁がされています。

その他には、避難者を受け入れた民家の把握、仮設トイレについて、あるいはボランティアの受け入れに対する課題・意見等が出来質疑が行われました。



・学校建設の現場からスタジアム予定地を確認



# 新しい年に臨んで

あとがき

20  
かまいし市議会だより  
第143号



議長 佐々木義昭

新年を迎え、市議会を代表してご挨拶申し上げます。

東日本大震災から早や4年と10ヶ月が経過しております。震災直後、多くの市民は一時希望を見失いかけましたが、平成28年度には復興公営住宅建設の見通しも立ち、平成30年度には「命の道路」とされる東北横断自動車道釜石秋田線や三陸沿岸道路の全線開通も見込まれており、少しずつではありますが、復興の兆しも見えてきております。

しかし、一方で5度目の春を迎えるというのに、未だに仮設住宅や仮設の集約で厳しい生活を強いられている方が多くおられます。私達議会としましても、その現実を真摯に受け止め、一日でも早く被災した方々に、以前の生活と笑顔を取り戻すことが出来るよう全力を尽くします。

## 海盛会



後藤文雄 赤崎光男 海老原正人 合田良雄 古川愛明

## 清流会



佐々木聰 菊池秀明 平野弘之 大林正英

## 21世紀の会



千葉栄 佐々木義昭 木村琳藏 山崎将也

## 日本共産党



菊池孝 坂本良子

## 公明党



山崎長榮 細田孝子

## 民政クラブ



水野昭利 遠藤幸徳 松坂喜史

▼復興住宅等の整備も急ピッチで進められ、不自由な暮らししから新しい暮らしへの期待が寄せられています。人々が暮らし続けられるまちづくりには、公共交通の整備は重要です、地域で買い物ができるよう、スーパーの出店も地域住民の切実な願いとなっています。今回の議会だよりの編集は、いつもより短い日程の中での取り組みでしたが、新しい編集委員の活発な意見や活躍で予定通り進めることができました。

(坂本記)

委員長 赤崎  
副委員長 坂本  
委員 佐々木  
松細後藤 喜孝文  
坂田崎 将良  
佐々木 喜孝文  
坂田崎 将良  
松細後藤 喜孝文  
坂田崎 将良  
佐々木 喜孝文  
坂田崎 将良  
史子 雄聰也子